

# 令和6年度中野区医療的ケア児等支援情報連絡会（第2回）記録

令和6年10月28日（月）14時から16時

## 1 第2回協議会報告等

- ・医療的ケア児等の保護者向けアンケートの実施について
- ・区ホームページへの当協議会開催内容の掲載について

## 2 医療的ケア児の支援状況共有事例を通して関係機関連携状況を知る

- ・コーディネーターの配置や役割について区として未だ明確に定まっていない。各機関で関わっているケースの状況を互いに知り、各機関の支援の状況を知る中で出てきた課題等を共有し、今後に生かしていきたい。
- ・中野区の関係機関の連携について実際のケースを通して確認をしていく。
- ・子どもの支援としては、すこやか福祉センターが担っている母子保健事業の中での関りが不可欠なため、各事例のすこやか福祉センターにおける関りについても共有する。

### 事例の検討

- ① 幼児 ―経管栄養・吸引・排便管理―
- ② 小学生（中学年）―人工呼吸器・喀痰吸引・経管栄養―
- ③ 小学生(高学年)―気管切開・吸引吸入・経管栄養・排便管理―

### 意見交換のまとめ

#### ▼すこやか福祉センターの役割

- ・すこやか福祉センターとしては、特に産前・産後の入口から支援に入りたい。
- ・退院前の時期に関係機関の役割分担をすこやか福祉センターが入り確認していく。
- ・サービスが入った後で、訪問看護からすこやか福祉センターへ連絡が入ることがあるが、早い段階で連絡がほしい。
- ・【なかのメディ・ケアネット】の活用についてもすこやか福祉センターで案内できる。
- ・すこやか福祉センターと保護者の関係性も見ながら支援の方向を確認していくことが、コーディネーターの役割ではないか。
- ・支援が落ち着いてくると、すこやか福祉センターの関りが薄くなるため、すこやか福祉センターが関係している間に、支援のベースを作り確認していきたい。

▼課題・今後の連絡化に向けて

○学校との連携

○状況確認

- ・区のサービスを知る(子どもの居宅介護・災害時個別支援計画・メディ・ケアネット)
- ・訪問看護(仕組み・訪問看護と介護の役割分担)
- ・保育園、学校、学童クラブ受入れの課題
- ・東部訪問看護の職員から状況を聞きたい

3 今年度の本情報連絡会の予定確認

◆第3回(1月31日)

中野区の医療的ケア児の支援の状況を知る ②

○東部訪問看護事業部から講師を招き研修

- ・医療的ケア児支援の実状について
- ・家族支援について

(今年度のコーディネーター研修修了者6名を含める)

◆第4回(3月中旬頃)

【案】中野区の医療的ケア児の支援の状況を知る ③

- ・保育園、学童・放デイ等の支援の状況
- ・区のサービスについて
- ・来年度に向け

4 東京都からの情報提供等

- ・コーディネーターのフォローアップ研修今後実施予定
- ・医ケア児の交流会あり(保護者と支援者向け)

5 その他

医療的ケア児等コーディネーター支援体制整備促進事業補助金について